

**埼玉弁護士会
と意見が一致**

集団的自衛権行使容認 閣議決定は許されない



9月9日、党県委員会と県議団は埼玉弁護士会会長らと懇談しました。大倉浩会長は、閣議決定について「安倍政権は今までの『保守』ともいえない。選挙で勝てば何でもできるという。立憲主義を全く理解していない」と述べ、「共産党とも連帯できるところは一緒にやっていきたい」と語り、懇談がはずみしました。
さらに、お互い運動を広げていく決意をかためあいました。



決算委員として、全力追及 2013年度決算について、 村岡県議が委員として審議に参加

県の借金は4兆円?? それでも続く、ダム建設事業

村岡県議は、10月23日の決算特別委員会で、県債（公共事業実施目的の借金）残高を追及。財政課長は県債残高が2017年度末には4兆円を超えることを認めました。

大規模公共事業であるダム建設は依然として進めています。ハツ場ダムには県はすでに約820億円支出し、今後も130億円あまり負担する予定です。村岡県議の追及で、それとは別に地域振興基金（総額178億円の見込み）の負担もあることが明らかになりました。

今年も県民の願いを 知事に手渡しました

10月24日、党県議団は、2015年重点要望・提案（211項目）を知事に提出し、懇談しました。



10月26日「さよなら原発」パレードに村岡・奥田両県議も参加しました。

約120人のみなさんと川口駅東口付近を元気に歩きました。

◆市政と県政、力をあわせて



県議会議員
村岡まさつぐ

プロフィール…1968年（昭和43年）鳩ヶ谷生まれ。東京家政大学家政学部卒業。栄養士。2011年まで鳩ヶ谷市議会議員（4期）。家族は夫と長男。川口市鳩ヶ谷本町に在住。趣味は読書。2014年県議補選で当選。総務県民生活委員、人材育成・文化・スポーツ振興特別委員、図書室委員



県議会議員
おくだ智子

プロフィール…1968年（昭和43年）鳩ヶ谷生まれ。東京家政大学家政学部卒業。栄養士。2011年まで鳩ヶ谷市議会議員（4期）。家族は夫と長男。川口市鳩ヶ谷本町に在住。趣味は読書。2014年県議補選で当選。総務県民生活委員、人材育成・文化・スポーツ振興特別委員、図書室委員



市議会議員 金子のぶお 市議会議員 板橋ひろみ 市議会議員 松本さちえ 市議会議員 今井はつえ 市議会議員 矢野ゆき子 市議会議員 金子ゆきひろ 党市生活相談室長 井上 薫 党市自治政策責任者 平川みちや

県と懇談する埼玉県農民運動連合会のみなさん 村岡（右1人目）・奥田県議（右から3人目）が同席



あいつぐ災害 被災者の再建支援を急げ

大雪被害支援、未だ届かない補助金 「生命保険を解約して業者に支払った」農家悲痛

2月の大雪による農業被害が甚大です。全県各地でビニールハウスなど農業施設が倒壊しました（被害総額約352億円）。国・県・市町村が協力し合い、倒壊施設の撤去・再建の補助制度が決まりました。

しかし降雪から7カ月後の9月11日、深谷市などの農家のみなさんが県に陳情にきました。倒壊ビニールハウスなどの撤去・再建の補助金がまったく支給されてい

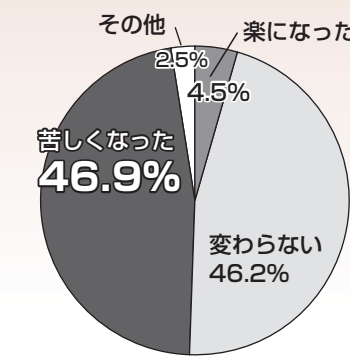
ないというのです。（写真上）

「生命保険を解約して業者に払った」「補助金の内示がなければ融資も受けられない」「ハウスの再建ができないので作付けも出来ず、このままでは生活が行き詰ってしまう」と悲痛でした。

党県議団は、この問題を一般質問で取り上げました。（2面につづく）

県政世論調査「生活が苦しい」急上昇 消費税10%への増税は許されません

去年と比べた暮らし向き



この7月「生活が苦しい」と答えた県民は46.9%と昨年より5ポイントも増えています（県政世論調査より）。消費税8%への増税が深刻な影響を与えているのです。党県議団は本会議で上田知事に対して、10%への増税は中止するよう国に求めよと追及しました。しかし知事は「総理ですらまだ判断していないのに、私ごときが判断するようなことではない」と、答弁を避けました。

苦しくなった理由

賃金などの収入が増えない、または減った	55.3%
税金や保険料などの支払いが増えた	44.6%
家族の増加や物価の上昇などで日常生活費が増えた	41.5%
教育費が増えた	19.0%

埼玉県議会議員（川口市選出）

村岡正嗣・奥田智子の 県政だより

秋号 発行2014年11月

日本共産党埼玉県議団

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1 埼玉県庁内
TEL048 (824) 3413 FAX048 (825) 1048
<http://jcp-saitama-pref.jp/>

大雪被害農家から悲痛な声 補助金が届かない! ハウス再建できず

知事、年内に支払うと答弁

党県議団は、未曾有の大雪被害に対して、農家に補助金が届いていない問題を本会議一般質問で取り上げました。
その結果、知事は補助金を年内に支払うと答弁しました。



県議 深谷や熊谷の農家の方々からは、「生命保険を解約して業者に払った」補助金が全く届いていないなど、深刻な訴えがありました。知事、国がどうこう言う前に、県が立て替えてでも支払いをすべきではありませんか？

知事 国や市町村と連携し、迅速な事務手続きに努めます。
年内にも被災農家に補助金の対応ができるよう、可能な限り努力します。



生命保険の解約「何かの間違いではないか???'」知事信じず

一般質問で農家の窮状を訴える党県議の言葉を知事はにわかに信じられず、思わずこのような答弁が。のちほど、県もこの事実を確認し、農家に直接謝罪と早急な支援の約束をしました。

9月、補助金支給はたったの3戸??

党県議の質問に答え、県農林部長は9月末までに補助金が届いた農家が飯能市の3戸だけであったと明らかにしました。
その後、10月17日には34市町に45億円の補助金が県より支払われました。

1300人の入所待機者 圧倒的に足りない障害者入所施設をつくれ

知事が入所施設をつくらない国の姿勢を批判「県としては整備する」

党県議は一般質問で、障害者入所施設の計画的増設を求めました。
埼玉県の10万人あたりの入所施設利用者数は全国42位です。



県議 1300人の待機者を何としても解消するため、今後も計画的に入所施設をつくるべきです。

知事 保護者はできるだけ自分の手で世話を続けたいが、自分が将来亡くなったときにやはり施設が重要だと考えています。国の「画一的に入所施設をつくらない」という方針は適切ではないと考えます。埼玉県としては今後も整備をしていきます。



障害者支援施設(入所)太陽の里(白岡市)を訪問する村岡県議(中央)

障害者のくらしの場を求めて 家族みなさんと県の懇談に同席

10月21日、重度障害者の保護者や施設関係者が入所施設の増設をもとめ、県と懇談し、奥田県議が同席しました。



日本軍「慰安婦」への謝罪を述べた 河野談話を否定する意見書

9月定例会に自民党・刷新の会より「『慰安婦問題』に関する適切な対応を求める意見書」案が提出され、共産・民主・公明・社民等の反対を押し切って可決強行しました。

この意見書は、朝日新聞が強制連行があったとする吉田証言を報じたことで「我が国政府からも『河野談話』という声明が発せられた」として、朝日の同証言取消を踏まえ新たな談話の発表を求めるものです。

可決強行

意見書案に対する反対討論に立った奥田県議

河野談話や国際社会が問題にしているのは、「強制連行」の有無ではありません。軍による「慰安所」における強制使役＝性奴隷制度こそが国内外から厳しく批判されている問題の核心です。ですから朝日新聞が吉田証言を取り消したからといって、新たな談話など必要ありません。



意見書提出の情報を聞き 傍聴と抗議に駆けつけた女性たち

意見書提出の報を聞き、県民のみなさん約50人が傍聴に駆けつけました。特に女性団体のみなさんは、意見書可決後、自民・刷新に抗議しました。



女性団体と懇談する県議団

今回に先立つ6月定例会では憲法改悪を求める意見書が自民・刷新によって可決強行されました。これらは安倍首相が進める戦争をできる国づくりに呼応するものです。私たちはこのような歴史をねつ造し、戦争へと逆行する動きを許しません。

1つの教室を2クラスで使う

生徒急増 特別支援学校の教室不足解消を

党県議団は、西部地域にあるおおぞら特別支援学校を視察。生徒数の増加によって、教室はふたつに仕切って、2クラスで使用。給食室も手狭で来年度は全員の給食が作れなくなりました。

一般質問で、党県議団は障害児の増加に対応して計画的な学校建設を要求。県教委は「必要な地域に必要な対策をおこなう」と答弁しました。



給食室が手狭で、来年度は全員の給食が作れません



バス乗り場も狭く、生徒は時間差で乗降します

定数削減で削られるのは「県民の声」です 村岡県議、反対討論

県議の定数と選挙区について審議が行なわれ、議会最終日、県議定数を1削減する案が自民・公明の賛成で可決しました。村岡県議は「本県の議員定数は1978年に94とされて以来据え置かれてきました。この間、本県の人口は、482万人から719万人へと著しく増加しており、民意の反映という観点からは、大幅な議員定数の増が図られるべきです。議員歳費及び政務活動費などを見直すことや、税金を使つての議員の海外派遣を中止することの方が、よほど財政削減となるはずだ」と討論しました。